

## 競技注意事項

1. 本大会は、平成30年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目は一人2種目までとする。リレーの補欠も1種目とする。
3. スパイクシューズは長距離種目以外は使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)
4. コールは行わない。(朝の受付での棄権、リレーオーダーの報告も不要。)  
競技開始20分前までに集合の予告放送をするので、15分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従うこと。(フィールド種目も他の種目と同じ集合場所とする)(速やかに整列できるよう準備して集まること)
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。  
スターティングブロックの使用は予選から希望者使用とする。速やかに設置できるよう指導しておくこと。**またフライングについては、小学校の大会では、1回目のスタートでフライングがあった場合、2回目以降のスタートでは、フライングした選手を即失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)**
6. リレーにおいては、本年度のルール改正で、従来のテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)を含めてテークオーバーゾーンが30mとなる。ゾーンの入口から20m地点が100mの基準線となる。**走者はこのゾーン内から走り始め、ゾーン内でバトンの受け渡しを完了すること。**
7. 100m種目及びリレーは、タイムレース予選を行い、上位8位まで決勝に出場する。(参加が8チーム未満の場合は即決勝)他のトラック種目は、予選を行わず、タイムレース決勝とする。  
80mハードル走は下表の規定にて行う。

第1ハードルまで	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

8. 走り幅跳びは、全員3回の試技を行い、全体の上位8名が残り3回の試技を行い、6回の試技で順位を決定する。  
また走り高跳びの試技は、男女とも100cmから開始する。順位決定は連盟競技規則に準じるが、全て条件が同じ場合の順位決定試技は、1位タイと6位タイの選手が出た場合のみ行う。  
なお県予選は女子105cm、男子110cmから試技を開始する。  
なお跳び方ははさみ跳びとし、マットへの背、腰からの着地は無効試技とする。  
**またジャベリックボール投げは、全国大会規則に従い、3回の試技のみで順位決定を行う。**  
(走り幅跳びのように上位8名での決勝試技は実施しない。)  
ソフトボール投げと同様、やり投げピットで助走距離は15mまで。
9. 各種目とも上位6位までを表彰する。表彰式は随時放送の指示により行う。参加できない場合は、本部に申し出て、賞状を受け取って帰ること。  
参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと) 記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。なお、後日倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。  
**名前、記録等に誤りがあった場合には、訂正に応じます。それ以上の責は負いません。**  
**また個人情報保護の観点から、名前の掲載を希望されない方は事前に大会本部に申し出ること。**  
各種目(正式種目のみ)の上位6位までの選手は、7月1日(日)の岡山県代表選手選考会に参加できる。
10. 各チームの指導者は、**見学のマナーも含めて**、選手の指導・管理を徹底すること。
11. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. 昼食はスタンドでとって構わないが、**ごみは各自持ち帰ること。**
14. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。

